

痛みがなかなか改善しない場合は、新たな治療法の選択肢も

変形性膝関節症の治療

気になる現場を
取材しました！

加齢や過度の負荷、筋肉量の低下によって膝関節の軟骨がすり減り、痛みが生じる変形性膝関節症。痛みがひどくなると日常生活が制限され、さらに症状が進行すると歩行が困難になるといいます。治療はリハビリなどの保存治療や手術のほか、末梢神経ラジオ波焼灼療法という新たな手法も登場したそう。専門家を取材しました。

精密検査を受ける

エックス線検査で、骨の状態やO脚かどうかについても確認される。エックス線撮影では、膝の骨と骨の間の隙間があるか否か、隙間がある場合はどのくらい空いているかなどを正確に調べるため、寝た状態ではなく立った状態で撮影が行われる。



STEP 2

START

STEP 1



問診を受ける

いつから痛みを感じているのか、どんな場合に痛みが生じるのか、膝が痛むことで生じる日常生活での困り事など、医師のヒアリングを受ける。その後は実際に歩き方が確認され、痛みの度合いや生活の困難度、膝の腫れや水腫の有無もチェック。

STEP 3



検査結果をもとに診断
治療方針を決める

精密検査の結果をもとに、診断がなされる。痛みへのアプローチだけではなく、これ以上症状が進行しないよう、現状を維持することも踏まえた上で、おのおのの状態に適した治療方針が決まる。

Q

手術に対して不安があるのですが
他の選択肢はありますか？

一般的に、薬や注射、リハビリ、装具の使用といった保存治療をまず行います。それでも生活に支障があったり、痛みが軽減しなかったりする場合に手術を検討。しかし、末梢神経ラジオ波焼灼療法という新たな治療法により、手術をせずに痛みの緩和が望めるようになりました。これは痛みを感じる感覚神

主な症状は膝の痛みと変形です。膝を動かしたときに痛みが生じますので、例えば階段の上り下り、正座、歩き始めの数歩、椅子から立ち上がったときなどに痛むことが多いですね。進行すると強い痛みを感じるようになります。関節の可動域も狭くなり、日常生活に支障を来すようになります。また、膝が腫れたり水がたまったりすること。痛みを感じたら早めの受診が必要です。

Q

変形性膝関節症の症状について
教えてください。

教えてくれたのは



たなか整形外科
田中 孝明院長

Q
&
A

検査&治療にまつわる

今回訪れたのは



医療機関の情報を詳しく!

P150

たなか整形外科

大学病院や総合病院を中心に整形外科全般の手術、スポーツ外傷の治療に取り組んできた田中孝明先生が院長を務める、2014年開業の整形外科クリニック。中でも膝関節の治療を専門とし、手術だけでは軽減しない痛みに対してはリハビリを積極的に実施する。約10人在籍する理学療法士とともに、老若男女の多種多様な痛みの改善を図り、患者の生活を支える。

北九州市八幡東区大蔵 1-14-2

☎ 093-654-5656

STEP 5



リハビリを行う

痛みの軽減、現状維持に関しては、リハビリが大きな柱となる。物理療法や膝への負担を軽減するために筋肉をつけるリハビリを受けることで、生活の質の向上も見込める。薬やヒアルロン酸注射など薬物治療と並行して行われることも多い。

STEP 4



治療開始

膝の状態に合わせて、薬やヒアルロン酸など注射での治療、膝への負担軽減を図る装具の使用などが開始される。それでも改善しない場合は手術が一般的だったが、近年は手術の回避や痛みの軽減が望める新しい治療法が加わり、選択肢が増えたそう。

取材を終えて

すり減った膝の軟骨が再生することはないため、変形性膝関節症を治すことは不可能であっても、手術をせずに痛みを和らげ生活の質の向上が望める新たな治療があるの

ならば、患者さんにとってトライする価値はあると思いました。侵襲性が低く日帰りでできる治療なので、体への負担が少ない点も安心材料になるかもしれませんね。

先生からのアドバイス

手術をためらっていた方には特に末梢神経ラジオ波焼灼療法という治療法は有用だと考えます。痛みがゼロにはならないものの、生活の質の向上が見込める上、低侵襲の治療になりますので体への負担が少ないのもメリットです。当院でも導入以来、多くの方が希望されています。まだ限られた施設でしか受けられませんので、適応となる状態であるか主治医にご相談の上、ご検討ください。

Q 予防のために日常生活でできることはありますか?

体重の増加は膝への負荷がかかりますので一番は運動ですね。特にお勧めするのはウォーキング。体重管理や足の筋力増加などが期待できるため、変形性膝関節症の予防が見込めるといわれています。また、ストレッチや体操、筋肉の強化やバランスを整えるといった理学療法士によるリハビリを受けることも、変形性膝関節症の予防には非常に有用であるといえるでしょう。

経に高周波を流して、組織を部分的に焼いて痛みを軽減する保険適用となる治療法です。体への負担が軽く、日帰り治療なので高齢でも受けられますが、状態にもよりますので、まずは医師へご相談ください。

たなか整形外科

整形外科／リハビリテーション科／リウマチ科

田中 孝明 院長

Tanaka Komei

東郷 進 さん

Togo Susumu

全身のけがや長引く痛みなど多種多様な体の痛みに対し、リハビリを中心に患者の生活をサポートしている「たなか整形外科」。大蔵バス停から徒歩約2分の場所に位置する同院で院長を務めるのは、膝関節を専門に幅広い体の痛みに

対して研鑽を積んできた田中孝明先生だ。大学病院などで整形外科全般の手術、スポーツ外傷などに携わる中、手術だけでは取れない痛みが多く、リハビリの有用性を実感したという。

「しかし、大きな病院では長期的なリハビリに対応していないことが多いのが現状。患者さんを手術後

老若男女の多種多様な痛みに対し リハビリテーションを軸に改善を図る



1 日が差し込む待合室。リラックスしながら過ごせるよう工夫する 2 リハビリに注力。痛みを根本から取り除くことをめざす 3 治療ではエコーを積極的に活用している

も診ていきたい気持ちが強くありました。そこで、リハビリを中心とした地域医療を提供したいと思い、開業を決意したんです」

理想とする医療の実現に向け、特にリハビリに注力してきた田中院長。10歳以下の子どもたちから90代の高齢者まで、幅広い世代の長引く慢性的な肩・背中・肘・腰・膝などの痛みからスポーツによる突発的なけがなどまで、根治をめざした幅広い整形外科診療を提供している。

診療ではできる限り専門用語を使用せず、わかりやすい言葉で説明するよう徹底。痛みで苦しむ患者の不安を素早く取り除くために親身に接することをスタッフ一同大切にしているという。リハビリにおいては、約10人の理学療法士が一人ひとりに適したメニューを立案し、マンツーマンで対応。多角的にアプローチできる機器も数多く導入している。

首・肩・肘・腰・膝などの痛み
生活やスポーツによるけがから
デイケアまで幅広い主訴に対応

編集部
eyes

開業から10年以上たち、通院困難な高齢者が増えてきたことから、デイケアだけでなく、より安心してもらえる環境を整えていきたいと語っていた院長。地域とともに歩んできた日々を振り返り、

地域貢献したいとほほ笑む姿と「スタッフの皆さんに支えてもらったおかげで今があります」という感謝の言葉に、出会ってきた人たちへ返返し

波治療器、ウォーターベッドなど多様な機器も活用。全身の多様な部位に用いることができる拡散型圧力波機器も早くから採用するなど、スタッフ一丸となり患者それぞれの生活を支えていく。

そして医師とスタッフがリスベクトし合っている点も同院の大きな特徴。「限られた時間の中で拾いきれなかった部分をフォローしてくれているのが、理学療法士をはじめとするスタッフたちなんです」と目を細める田中院長に対し「院長が丁寧な情報を共有してく

ださるので、同じ方向を見て患者さんを支えることができます」と東郷さんも笑顔で応じる。

頸椎ヘルニアや腰椎ヘルニア、変形性膝関節症といったよく耳にする疾患の患者から、野球肘、テニス肘、腱板損傷、靱帯損傷、オスグッド病、ジャンパー肘など、スポーツ競技におけるけがや障害で来院する学生まで、実にさまざまな患者に対応する同院。ディケアでも、田中院長とスタッフの「良い状態が長く維持できるように」という想いのもと、適切な運動やリハビリを強化し、地域の健康寿命延伸に尽力している。



田中院長の専門は膝関節の治療。多くのけがや病気に対応してきた

力を入れている治療・検査

膝関節を専門とする田中院長は、肥満や加齢などで膝の軟骨がすり減り、強い痛みが生じる変形性膝関節症の新たな治療法として、末梢神経ラジオ波焼灼療法を導入。この治療法は痛みを感じる神経に対して高周波を流し、感覚神経を部分的に焼灼することで痛みを和らげる治療法だ。従来は生活改善や運動療法、足底板などの装具を使用する装具療法、痛み止めや貼り薬などによる薬物療法、関節内注射などを提供していた。効果が得られない場合は手術療法が一般的だったが、新たな治療法の登場で手術せずに痛みの軽減が期待できるようになった。「改善が見込める治療法ですので、ぜひご相談ください」と院長。



変形性膝関節症の治療に末梢神経ラジオ波焼灼療法を提供している



Tel 093-654-5656

Add 北九州市八幡東区大蔵1-14-2

Parking 有

Closed 日／祝

Map P143 D-2

関連記事 P028

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	—	—
14:00~18:00	●	●	●	—	●	—	—	—



ウェブ版はコチラ